



中洋の風 第45号



- 学校教育目標 : 地域を愛し、地域からも愛される児童の育成
- めざす学校の姿 : 美しい学校（美しい環境&美しい心と姿の育成）
- めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気！（自ら学ぶ子 心豊かな子 がんばる子）

中洋小のHPは
こちらから

＜「美しい学校」～朝のボランティア活動で花壇がきれいに！～＞

以前もお知らせしましたが、朝、登校して時間に余裕がある児童が、自主的に落ち葉を掃いたり、草を引いてくれたりしています。最近では、寒い朝も手袋を外し、中庭の花壇に生えた小さな草を丁寧に抜いてくれています。参加してくれる児童の人数もだんだん増えているようです。みなさんのおかげで、「パンジー」のきれいに咲いている姿を見ることができるようになってきました。春になって花壇を見るのが楽しみです。時々「ネモフィラ」の苗も抜いてしまっていたけどご愛嬌です。みんなで、みんなの母校中洋小学校を美しい学校にしていきましょう。



【花壇の草を引く児童。】



【花壇の草を引く児童。】

＜全国学校給食週間でした。～1月24日から1月30日まで～＞

学校給食の起源は、1889（明治22）年、山形県鶴岡町（現・鶴岡市）の大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で、生活が苦しい家庭の子どもに無償で昼食を用意したこととされています。その昼食は、大督寺の僧侶が一軒一軒家を回り、その家々でお経を唱えることでいただいたお米やお金で用意したものだったそうです。その後、徐々に広まりを見せていった学校給食でしたが、戦争による食料不足などを理由に中止せざるを得なくなっていました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになりました。昭和21



【感謝のメッセージ。】

年6月に米国のLARA（Licensed Agencies for Relief in Asia：アジア救済公認団体）から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開されました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。そして、昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。（農林水産省・文部科学省のホームページを参照・1月の食育だよりにも詳しく書いてあります。）中洋小学校でも健康委員会が全校児童に、給食に関するクイズを出したり、調理員さんや配膳員さんに感謝のメッセージを送ったりする活動に取り組んでいます。